



目次

目次	2
1. ゾーン	3
2. ゾーンの拡張設定	10
3.1 フォーマットと検証	10
3.2 Smart Seek (スマート シーク)	13
3.3 「ゾーン」ルーチン	17

1. ゾーン

Umango では、ゾーン機能を使用して、ドキュメント内に含まれるあらゆる情報を取得できる柔軟性が提供されます。

このセクションに進む前に、少なくとも 1 つのサンプルドキュメントをアップロードしたことを確認してください。サンプルドキュメントのアップロードについては、「サンプルドキュメントと AI フィールドの説明書」を参照してください。

ゾーンを定義して設定することで、Umango を使用してドキュメントに記述された情報を取得できます。ゾーンを作成して設定するには、以下の手順に従ってください。

1. 処理構成で、「ゾーン」タブをクリックしてください。



ゾーン構成へのアクセス

2. 新しいゾーンを作成するには、「青いボタン」をクリックしてください。



新しいゾーンを作成ボタン

3. 情報を取得したいエリアをクリックして長押ししてください。



新しいゾーンのエリアを選択

4. ゾーンのプロパティのポップアップが表示されるので、ゾーンの名前を入力してください。



充填ゾーンの名前

5. ゾーンの種類を選択してください。

「ゾーン」のプロパティ

「ゾーン」名

「ゾーン」種類 フォーマットと検証 Smart Seek 「ゾーン」ルーチン

「ゾーン」種類

- ☒ リージョンからのキー
- ☐ オプティカルマーク
- ☐ バーコード/MICR
- ☐ ODBC データ ルックアップ
- ☐ OCR テキスト
- ☐ エクスポートフィールド
- ☐ 値のリスト
- ☐ AI分野

オプション

- ☐ 必須フィールド
- ☒ 処理時のズーム「ゾーン」
- ☐ テキスト内のスペースを削除

デフォルト値

このフィールドはデータマージをサポートしています

ゾーンの種類の選択

※各ゾーン種類の説明

- リージョンからのキー:** ユーザーは、ドキュメント内で選択されたゾーン領域に基づいて値を入力するよう求められます。
- バーコード/MICR:** Umango は、ドキュメント内の選択されたゾーン領域のバーコード値を読み取ります。
- OCR テキスト:** Umango はドキュメント内の選択されたゾーン領域のテキストを読み取ります。
- 値のリスト:** ユーザーは、ドキュメント内で選択されたゾーン領域に基づいて、リストから値を選択するように求められます。
- オプティカルマーク:** Umango はインクの存在（例：チェック マーク、丸など）を検出し、それに基づいて値を決定します。
- ODBC データ ルックアップ:** データベースから値を検索して取得します。
- エクスポートフィールド:** ユーザーには、関連するエクスポート先で値をブラウザーで参照または検索するように求められます。

6. 前の手順で選択したゾーンの種類に応じて指示に従ってください。

- リージョンからのキー:** フィールドに挿入する必要があるテキストの種類を選択してください。

テキスト入力オプション

これらのオプションは、ほとんどの最新のブラウザとデバイスで入力エンTRIESを強化します

- ☒ 文章
- ☐ 日時
- ☐ 日程
- ☐ 時間
- ☐ 月
- ☐ 週
- ☐ 電子メールアドレス
- ☐ 番号
- ☐ パスワード(マスク)
- ☐ 電話番号
- ☐ ウェブアドレス (url)

厳密なフォーマット検証のために、「ゾーン」のフォーマットおよび検証タブの下にフォーマットルールを追加します。

リージョンからのキーのオプション

- b. バーコード/MICR: 「バーコードの種類」と「バーコードの特定のフィルターの種類」を選択してください。



バーコードのオプション

- c. OCR テキスト: 以下に説明するように、OCR テキストに関していくつかの設定を行うことができます。



OCR テキストのオプション

1. OCR 処理を行うエンジンを選択してください。
2. ゾーン領域内のテキストのコンテキストを選択してください。
 - **テキストのブロック**: 複数行のテキストを含む領域。どのコンテキストを選択すべきかわからない場合は、このオプションを使用してください。
 - **テキスト行**: 予想されるテキスト行が 1 行のみである制約ゾーン。
 - **構造化された領域**: 線、ボックス、画像、テキストなどが含まれる大きなゾーン。必要な情報を取得するには、事前の構成が必要になる場合があります。
3. テキストを検出するためのエンジンの優先順位を選択してください。(より高速なキャプチャまたはより正確なキャプチャ)。
4. ゾーンの領域で検出されると予想される言語を選択してください。
5. 縦書きテキストの読み取りと行の無視のオプションを選択してください。

- d. 値のリスト: ユーザーが選択できるよう表示される値のリストを入力してください (カンマ区切りの値)。

値のリスト

ユーザーが選択できる値のリスト (カンマ区切り)

カードリーダー x バーコードスキャナー x コインの自動販売機 x

ユーザーは、上記のオプションのいずれかを選択するよう求められます

値のリストのオプション

- e. オプティカルマーク: オプティカルマークを検出した場合と検出しなかった場合の値を選択してください。

オプティカルマーク値

処理中に「ゾーン」内でマークが検出された場合、インデックス値は下に入力された「True」の値に設定されます。マークが検出されない場合、インデックス値は「False」値に設定されます

マーク IS 検出 (True) 署名された契約書

マークが検出されない (False) 未署名の契約書

オプティカルマークのオプション

- f. ODBC データ ルックアップ: 「ビルドルックアップ」 ボタンをクリックして、以下の手順に従ってください。

- g. エクスポートフィールド: 「参照するエクスポート場所 (1)」を選択するか、「ボタン (2)」をクリックして参照する新しい場所を追加してください。

ルックアップ フィールドのエクスポート

エクスポート先を検索/参照し、処理中に値を返します。

+ コネクタを追加 2

<input checked="" type="radio"/>	OneDrive Folder	Browse and select a OneDrive folder
<input type="radio"/>	Browse Folders	Browse and select the destination folder from the root folder
<input type="radio"/>	Search Folders	Search and select the destination folder from the root folder
<input type="radio"/>	Google Drive Folder	Browse and select the Google Drive destination folder

1

エクスポートフィールドのオプション

7. 追加オプションを選択してください。そして、Umango がゾーンの情報
報を取得できなかった場合はデフォルト値を設定してください。

「ゾーン」種類 フォーマットと検証 Smart Seek 「ゾーン」ルーチン

「ゾーン」種類

☐ リージョンからのキー
—
☐ バーコード/MICR
☒ OCR テキスト
☐ 値のリスト

☐ オプティカルマーク
☐ ODBC データルックアップ
☐ エクスポートフィールド
☐ AI分野

読取精度 80 %

オプション

☐ 必須フィールド
☒ 処理時のズーム「ゾーン」
☐ テキスト内のスペースを削除
☐ 検証しない

デフォルト値

このフィールドはデータマージをサポートして

ゾーンのデフォルト値と追加オプション

8. 「テストボタン」をクリックしてゾーンの結果を確認してください。

「ゾーン」のプロパティ

「ゾーン」名 合計金額

「ゾーン」種類 フォーマットと検証 Smart Seek 「ゾーン」ルーチン

「ゾーン」種類

☐ リージョンからのキー
—
☐ バーコード/MICR
☒ OCR テキスト
☐ 値のリスト

☐ オプティカルマーク
☐ ODBC データルックアップ
☐ エクスポートフィールド
☐ AI分野

読取精度 80 %

オプション

☐ 必須フィールド
☒ 処理時のズーム「ゾーン」
☐ テキスト内のスペースを削除
☐ 検証しない

デフォルト値

0

OCR オプション

エンジン 環境 精度の見返り

ABBYY テキスト行 速い 正確

期待される言語 その他のオプション

× English × Japanese ☐ 縦書きテキストの検出 (遅い)
☐ テキストの近くの行またはボックスを無視する

テスト 保存 キャンセル

テストボタン

9. 結果を確認して「OK」ボタンをクリックしてください。



ゾーン結果の確認

10. 「保存」ボタンをクリックするか、必要な情報の取得に失敗したゾーンの設定を調整してください。



ゾーンの保存ボタン

2. ゾーンの拡張設定

ゾーンではいくつかの高度な構成を行うことができます。取得した値を検証したり、長いテキストから特定の値を取得したり、カスタム スクリプトを実行したりするようにゾーンを設定できます。

2.1 フォーマットと検証

フォーマットと検証の設定は、ゾーンから取得された情報が正しい構造であることを確認するために使用されます。たとえば、特定の形式で日付情報を取得したい場合、Umango でこの機能を使用すると、取得した情報の形式が異なる場合にユーザーの介入を強制できます。フォーマットと検証では 4 つの設定を構成できます。

a. ホワイト文字

ホワイト文字は、作成されたゾーン領域に表示されることが予想される文字、数字、記号です。[任意の文字、文字、数字、またはカスタムの期待値] のオプションを選択できます。

「ゾーン」のプロパティ

「ゾーン」名 総見積り

「ゾーン」種類 フォーマットと検証 Smart Seek 「ゾーン」ルーチン

ホワイト文字

この「ゾーン」に表示される文字を入力してください。ホワイト文字は OCR の精度を高めます。

キャラクター選択

☐ 任意の文字

☐ 手紙

☐ 数字

☒ カスタム

ホワイト文字

0123456789ABCDEFGH&*

ホワイト文字の設定

- **任意の文字:** OCR エンジンで、すべての文字に対してオープンな可能性を想定するように設定します。
- **文字:** OCR エンジンでアルファベット文字 (大文字と小文字の両方) を想定するように設定します。
- **数字:** OCR エンジンで、数値の整数文字のみを想定するように設定します。
- **カスタム:** 予想される文字の制御を可能にし、アルファベット、数字、記号の値の組み合わせを設定できます。

b. フォーマット構造

フォーマット構造は、選択したゾーンの領域に表示されることが予想される文字、数字、記号のフォーマットです。シンプルなフォーマットを設定することも、正規表現 (REGEX) を使用してフォーマットを設定することもできます。シンプル フォーマットと正規表現の詳細については、「シンプル フォーマットと正規表現の説明書」を参照してください。

「ゾーン」種類 フォーマットと検証 Smart Seek 「ゾーン」ルーチン

ホワイト文字
この「ゾーン」に表示される文字を入力してください。ホワイト文字は OCR の精度を高めます。

キャラクター選択 ホワイト文字

☐ 任意の文字
☐ 手紙
☐ 数字
☒ カスタム

0123456789ABCDEFGH&*

フォーマット構造
キャプチャされた値に期待される形式を入力します

検証ルックアップ
「ゾーン」値を検証または返すための ODBC ルックアップを作成する

☐ 値を検証する

フォーマット構造の設定

- **シンプルなフォーマット:** キー文字を使用してシンプルなフォーマットを作成します。このシンプルなフォーマットのキー文字は、[#=数字]、[A=文字]、[X=任意の文字]、[?=オプションの文字]、[特定の文字]です。例。
 - 特定の日時フォーマット: 20##/##/##
 - 特定のコード: AAA#####_####??
- **正規表現 (REGEX):** 正規表現の値を設定するか、「緑色」ボタンをクリックして正規表現ビルダーを使用し、独自の正規表現を作成することができます。例。
 - 特定の日時フォーマット: `REGEX(\d{2}\/\d{2}\/\d{4})`

c. 検証ルックアップ

外部データベース(ODBC)から取得した値に基づいて、取得したゾーン値を検証します。ODBC ルックアップの詳細については、ODBC ルックアップの手順を参照してください。ルックアップでは、次の方法を使用して値を検証できます。

- ゾーン値がデータベース内に見つかった場合に有効。
- ゾーン値がデータベース内に見つからない場合に有効など。

「ゾーン」種類 フォーマットと検証 Smart Seek 「ゾーン」ルーチン

ホワイト文字
この「ゾーン」に表示される文字を入力してください。ホワイト文字は OCR の精度を高めます。

キャラクター選択 ホワイト文字

☐ 任意の文字
☐ 手紙
☐ 数字
☒ カスタム

0123456789ABCDEFG&*

フォーマット構造
キャプチャされた値に期待される形式を入力します

*

検証ルックアップ
「ゾーン」値を検証または返すための ODBC ルックアップを作成する

☐ 値を検証する [ビルドルックアップ](#)

検証ルックアップの設定

d. フォーマットを強制する

ゾーンから取得された値が、すべてのホワイト文字文字、フォーマット、および検証ルールを満たしていることを確認します。

フォーマット構造
キャプチャされた値に期待される形式を入力します

*

検証ルックアップ
「ゾーン」値を検証または返すための ODBC ルックアップを作成する

☐ 値を検証する [ビルドルックアップ](#)

フォーマットを強制する
値が書式設定、空白文字、および検証規則に準拠していることを確認する

☐ 強制フォーマット

フォーマットを強制するの設定

2.2 Smart Seek (スマート シーク)

スマート シークにより、OCR エンジン幅広い領域ゾーンから特定の値を取得できるようになります。スマート シークでは、シンプルなフォーマット、正規表現 (REGEX)、または人工知能を使用して、基準を満たす特定の値を取得できます。

「ゾーン」種類 フォーマットと検証 Smart Seek 「ゾーン」ルーチン

SMART SEEK

☐ なし Smart Seekを使用しない

☒ エクス 以下の抽出フォーマット構造に基づいて「ゾーン」値を探して抽出します

☐ AIに聞く 以下のリクエストを使用して、ゾーン領域内のテキストに基づいて値を提供するよう AI に依頼します

☐ ハイライト 処理中に単語を強調表示してズームする

☐ マルチページ 「ゾーン」のページで見つからない場合は、次のページでこの地域を検索してください

スマートシークの選択

設定は、選択したスマート シーク方法によって異なります。

- なし:** スマートシーク機能をオフにします。
- エクス:** シンプルなフォーマット方式または正規表現 (REGEX) を使用して特定の値を抽出します。

「ゾーン」種類 フォーマットと検証 Smart Seek 「ゾーン」ルーチン

SMART SEEK

☐ なし Smart Seekを使用しない

☒ エクス 以下の抽出フォーマット構造に基づいて「ゾーン」値を探して抽出します

☐ AIに聞く 以下のリクエストを使用して、ゾーン領域内のテキストに基づいて値を提供するよう AI に依頼します

☐ ハイライト 処理中に単語を強調表示してズームする

☐ マルチページ 「ゾーン」のページで見つからない場合は、次のページでこの地域を検索してください

抽出フォーマットの構造

抽出するデータの形式を入力してください

REGEX((?<=\\s).*)

エクスの設定

- **シンプルなフォーマット:** キー文字を使用してシンプルなフォーマットを作成します。このシンプルなフォーマットのキー文字は、[#=数字]、[A=文字]、[X=任意の文字]、[?=オプションの文字]、[特定の文字]です。例。
 - 特定の日時フォーマット: 20##/##/##
 - 特定のコード: AAA#####_####?

- **正規表現 (REGEX)：** 正規表現の値を設定するか、「緑色」ボタンをクリックして正規表現ビルダーを使用し、独自の正規表現を作成することができます。例。
 - 特定の日時フォーマット: `REGEX(\d{2}\/\d{2}\/\d{4})`
 - '御中' より前のすべての値を取得します: `REGEX(.*(?=御中))`
- シンプル フォーマットと正規表現の詳細については、「シンプル フォーマットと正規表現の説明書」を参照してください。

c. AI に聞く： コマンドまたはリクエスト文を使用して特定の値を抽出します。例を写真に示します。

「ゾーン」種類
フォーマットと検証
Smart Seek
「ゾーン」ルーチン

SMART SEEK
☐ なし Smart Seekを使用しない
☐ エキス 以下の抽出フォーマット構造に基づいて「ゾーン」値を探して抽出します
☒ AIに聞く 以下のリクエストを使用して、ゾーン領域内のテキストに基づいて値を提供するよう AI に依頼します
☐ ハイライト 処理中に単語を強調表示してズームする

☐ マルチページ 「ゾーン」のページで見つからない場合は、次のページでこの地域を検索してください

CAPTURE REQUEST
 通常の言語を使用して、ゾーン領域内のテキストに基づいて必要なデータを AI エンジンに伝えます
 最新の日付を取得する 請求書番号を取得する
 人の名前を取得する 3番目の説明を取得する
 書類の種類
 クライアントという単語の後に続く 2番目に大きい数字を取得します

'円'より前のすべての値を取得する

 精度を上げるには、[書式設定と検証] タブにあるフィールドに書式構造を含めます
☒ 結果のデータが「ゾーン」で見つかった場合は強調表示します

AI に聞くの設定

d. **ハイライト**: 設定されたフォーマットを強調表示してズームします。値を強調表示するだけ、強調表示された値全体、または近くの値を取得することができます。取得したいデータの形式は、正規表現またはシンプルなフォーマットを使用して設定されます。シンプルフォーマットと正規表現の詳細については、「シンプル フォーマットと正規表現の説明書」または前のセクションの説明を参照してください。

- **価値を強調するだけ**: ハイライトとズームインのみで、値は取得されません。この機能を有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 「ハイライトして抽出するオプション (1)」のチェックを外し、「抽出する目的の値 (2)」を入力してください。

価値を強調するだけ

- **ハイライト表示された値またはその近くの値を取得する**: ハイライト表示してズームインし、ハイライト表示された値またはその近くの値を取得します。この機能を有効にするには、次の手順に従ってください。

1. 「ハイライトして抽出するオプション」のチェックをしてください。

ハイライトと抽出のオプション

2. 取得したいデータの場所を選択してください。

ハイライトと抽出

☒ 強調表示されたテキストの近くから「ゾーン」値を抽出します

☐ ハイライトされたテキストの前または上

☒ ハイライトされたテキストの後または下

ハイライトフォーマットの構造

強調表示するデータの形式を入力してください

¥

抽出フォーマットの構造

抽出するデータの形式を入力してください

REGEX((?<=¥).*)

場所の選択

3. ハイライトしたい文字やフォーマットを入力してください。

ハイライトと抽出

☒ 強調表示されたテキストの近くから「ゾーン」値を抽出します

☐ ハイライトされたテキストの前または上

☒ ハイライトされたテキストの後または下

ハイライトフォーマットの構造

強調表示するデータの形式を入力してください

¥

抽出フォーマットの構造

抽出するデータの形式を入力してください

REGEX((?<=¥).*)

ハイライトしたい文字やフォーマット

4. 取得したい文字またはフォーマットを入力してください。

ハイライトと抽出

☒ 強調表示されたテキストの近くから「ゾーン」値を抽出します

☐ ハイライトされたテキストの前または上

☒ ハイライトされたテキストの後または下

ハイライトフォーマットの構造

強調表示するデータの形式を入力してください

¥

抽出フォーマットの構造

抽出するデータの形式を入力してください

REGEX((?<=¥).*)

取得したい文字またはフォーマット

2.3 「ゾーン」ルーチン

ルーチンの詳細については、「スクリプトとルーチンの説明ドキュメント」を参照してください。